

多層カーボンナノチューブMWNT-7及び関連製品の概要

	製品	形態	その概要	出荷先での用途等
①	MWNT-7 (2009年以降はNT-7Kと名称変更して出荷)	粉状	造粒をしていないカーボンナノチューブ 繊維径: 40-90nm 繊維長: 平均10 μ m 【粒度分布、電子顕微鏡写真は資料3-4参照】	日本バイオアッセイ研究センター等からの試験研究用途での提供依頼に応じて供給した。(日本バイオアッセイ研究センターにおけるラット長期吸入ばく露試験では発がん性を確認)
②	MWNT-7(造粒品) (2009年以降はNT-7と名称変更して出荷)	粉状	樹脂等混練用。分散処理を容易にするため、造粒剤(糊)で固めて50 μ m程度の径の粒にしたもの(嵩密度はNT-7Kの10倍以上) 【粒度分布、電子顕微鏡写真は資料3-4参照】	左記造粒品(粉)の出荷先のユーザーが、委託加工により製造した混練品(ペレット等)を成型して製品を製造
③	MWNT-7の樹脂混合品(コンパウンド品)	ペレット等	②を樹脂と混練し、ペレット状又はゴム等の粘性の高い固体状としたもの	出荷先でユーザーが成型して製品を製造

注) MWNT-7及びその名称変更品(NT-7K, NT-7)については、既に2014年に製造が中止されている。